県民グループ「クローバー」と「いまりプラザ」による
調査研究報告会を開催しました

男女共同参画の推進を目的として調査研究に取り組んだ２組のグループが
アバンセで報告会を行いました。グループの報告の一部をご紹介します。

（平成 23 年 3 月 13 日開催）

○第１部

「子育て支援の理想と現実　～本当に必要な子育て支援を探る～」

報告グループ：**クローバー**

【報告要旨】

子育てママのための連続講座をアバンセで受講したことをきっかけに、私たちは 2008 年に「クローバー」を立ち上げました。今では自分たちでママのためのリフレッシュ講座などを運営しています。子育て支援に求められるものは何かと思案するなかで、子育て支援に携わる人たちや、支援の利用者であるママたちの声を集めたいと思うようになりました。今回のインタビュー調査には 11 人の支援者と 24 人のママが協力してくれました。

ママたちのインタビューで見えてきたことは、「自分の時間」をほとんど持てないママが大勢いることです。自分たちもそうでしたが、リフレッシュする時間がないと自分自身が行き詰ってしまいます。また、働いているママは、子どもが病気になったときに仕事を休んだり、快復期に預かってもらえるところを探したりするのにとても苦労していました。支援が整っているようでも実際のところは使いにくい。そんな一面もあるのではないかと思います。

クローバーのみなさん

提案したいのは、まず子どもに関する相談や問い合わせ先の一本化です。次に、歩いて行けるような距離にある地域の公民館や学校の活用です。サークルなどに行く勇気のない方々にどうやったら出てきてもらえるか、ということも考えていかなければなりません。

私たちは、他の子育てサークルともつながっていきたいし、団塊の世代の方々ともつながっていきたい。公民館などが憩いの場になれば、いろんな世代の人たちとの交流が生まれ、地域での孤立も防ぐことができると思います。

【講評】

西九州大学子ども学部
学部長　香川せつ子さん

今回クローバーのみなさんは、行政がよく行っている「アンケート調査」ではなく、自分たちがインタビューに出かけて行くという調査方法を取りました。イラストを交えた調査報告書は表紙もかわいらしく、内容もとてもわかりやすくまとめられています。

子育てママのグループが自分たちの力でやり遂げたこの調査研究の成果は、県内のお母さんたちを大いに元気づけることでしょう。提案した「サークル同士の連携」がどんどん進めば、きっと行政を動かすパワーにもなり得ると思います。

○第２部

「人と人のすてきな関係!!　～ＤＶ被害防止に向けた紙芝居づくり～」

報告グループ：**伊万里市男女協働参画懇話会「いまりプラザ」**

【報告要旨】

デートＤＶとは交際相手からの暴力のことです。内閣府の平成 21 年 3 月の調査によると、10 歳代から 20 歳代の頃に交際相手がいた女性のうち、７～8 人にひとりは交際相手からなんらかの暴力を受けたことがある、ということです。私たちはデートＤＶを多くの人に知ってもらいたくてこの紙芝居をつくりました。男女協働参画社会づくりに向けたいまりプラザの活動の中で、若い年齢層への啓発をどう進めていくかは、私たちが抱える大きな課題でもありました。

「いまりプラザ」の報告者のみなさん

紙芝居は内閣府男女共同参画局作成の教材「人と人とのよりよい関係をつくるために」を参考に、出前講座などで誰もが活用できるものを目指しました。私たちは紙芝居で啓発することはできますが、見ていただく方々へ適切な助言をすることまではなかなかできません。そのかわりに「デートＤＶの被害にあったときや、まわりに悩んでいる人がいるときには、ひとりで悩まず、専門機関に相談してください」と伝えていきたいと思います。

私たちは、この紙芝居がＤＶの被害者や加害者、そして周囲の人たちの「気付き」のきっかけになることを望んでいます。ぜひ、いろんな場所で、たくさんの方たちに見ていただきたいと思います。

【講評】

若い人たちは映画やドラマなどの影響から、恋愛に夢やロマンを描きがちです。「恋愛とはこういうものだ」、「愛しているなら我慢しなければ」などといった強い思い込みは、本人に DV だと気付かせるのが難しいものです。早期からのデート DV 防止啓発が大切になってきますので、紙芝居のテーマに取り上げたことは重要なポイントです。

さっと全体を見渡せる原作の漫画よりも、場面ごとに「生」で語りかける紙芝居はインパクトが大きく、親しみやすさもあってアピールしやすい手段だと思います。学校をはじめ、県内のさまざまな場所で活用されることを期待します。

西九州大学子ども学部
学部長　香川せつ子さん

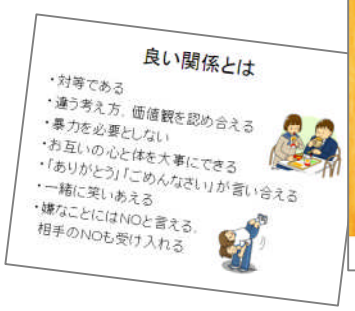
お 知 ら せ

「クローバー」と「いまりプラザ」の調査研究成果をまとめた報告書をご希望の方に差し上げています。（無料。ただし送料はご負担いただきます）

また、紙芝居「すてきな関係って?!」は、団体・グループなどへの貸出を行っています。

詳しくはアバンセ事業部（電話 0952-26-0011）までお問い合わせください。

↑平成 22 年度県民グループ研究交流支援事業（調査研究部門）報告書



←↑紙芝居「すてきな関係って？！」